会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市史編さん委員会
- 2 開催日時
令和 7 年 3 月 24 日（月） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 00 分まで
- 3 開催場所
犬山市役所 2 階 201 会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
羽賀祥二、岡本耕平、赤塚次郎、渡邊智治、岡田雅隆、高橋秀治
 - (2) 執行機関
滝教育長、中村教育部長、（歴史まちづくり課）加藤課長、小川課長補佐、鈴木主査補、河寄主査補、河合
- 5 報告
 - (1) 令和 6 年度の活動について
- 6 議題
 - (1) 通史編の構成・内容について
- 7 傍聴人の数
0 人
- 8 内容
 1. 開会（羽賀委員長挨拶）
 2. 報告
 - (1) 令和 6 年度の活動について
事務局：3 月末で調査協力員（民俗班）の井上宗一郎氏、長岡昭雄氏が退任する。代わって 4 月からは、野外民族博物館リトルワールド学芸員の池畑早穂氏が調査執筆委員（民俗班）に加わる。
事務局：資料編は 3 月 21 日に市役所へ 300 部納品され、業者にて関係各所への配送準備が行われている。価格 5,000 円で 5 月 7 日から販売開始予定である。市 HP、市 SNS のほか市広報 5 月号でも告知する。

3. 議題

(1) 通史編の構成・内容について

事務局：序章、終章を含めて全 12 章の構成となる予定である。資料編の内容をベースに、通史編としての流れを考えて再構成した。全 800 ページで、本文が 700 ページに収まるよう各章に仮のページ数を割り振っている。3 月 22 日の専門部会では、資料として収集した観光ポスター画像をまとめて掲載できないか、犬山市の概要がわかるような地図を入れた方がよい等の意見が出た。本編の冒頭にあたる第 1 章には、平成期の犬山で特徴的だった町並み保存運動や市民との協働を配置する予定である。

委員長：観光ポスターの画像を入れるために口絵のページ数が増やせるか、具体的にどんな地図を入れるか等は今後の検討課題である。

委員長：城下町づくりにまつわる市民の活動（＝第 1 章）を前提として、平成期の犬山について考えていきたいという発想である。通常の自治体史では行政的な内容（＝第 2 章）が冒頭に来るが、犬山市史としての特徴を出すためにそのような順番にした。各章のページ数は原稿が出た後に調整が必要になる。通史編では各章に章責任者（専門部会委員）を置き、原稿の調整などを行う体制をとる。

委員：第 9 章のタイトルを「地域の文化資源」にするか検討中とのことだが、資料編で対応する章は「文化財」となっている。また、章タイトルに「文化資源」、節・項に「文化財」、第 2 節第 2 項に「文化遺産」という語が入るので使い方の調整が必要かもしれない。文化遺産があり、それを文化資源とみなして観光やまちづくりに生かすということだったと思う。ユネスコは人々の生活そのものを文化遺産とみなすとしている。指定文化財を扱う場合はもちろん「文化財」となる。

委員長：第 7 章は指定文化財に限らず、より広い内容を扱うため「文化資源」とした。第 9 章は執筆担当委員の意向を再度確認のうえ決定する。

委員長：平成編は同時代史のため、現存する方について叙述することになる。資料編でも議論したが、通史編でも人権や個人情報に周到に配慮して進めていきたい。編さん委員会に諮る可能性もある。

4. その他

・次回は令和 7 年 6 月 3 日（火）午後 1 時 45 分～の予定。詳細は改めて連絡する。